

大五建設社内報

令和3年10月18日発行

～第89号～

編集:イメージアップ委員会

<資格取得>

宮本さんが第二種電気工事士に合格しました。本人の努力はもちろんですが、周囲の協力もあり、合格できたようです。電気工事士は、筆記と技能試験に分かれており、技能試験は苦戦したとのこと。試験1週間前まで制限時間内に終わることができず、周囲の協力を得て合格をつかむことができました。今後の業務に生かしていただきたいと思います。

(五十嵐)



<上半期MVT>

10月4日に上半期の委員会活動のまとめの発表と投票が行われました。1位になったのはイメージアップ委員会でした。おめでとうございます。10月から新しい委員会活動が始まっております。どの委員会も、次回1位に選ばれるよう委員会活動を頑張りましょう！

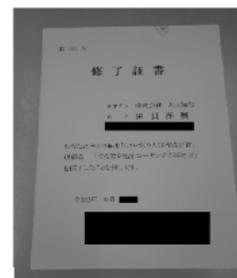
(越田)



<コーチング研修>

先日、社外でコーチングの研修に参加させていただきました。コーチングについては言葉でしか知りませんでしたので、勉強になる良い機会でした。研修の内容はコーチングの基本的な考え方のGROWモデルについて教えていただきました。午後は実際にロールプレイングで、コーチ役とクライアント役を演じました。コーチ役の質問に答えながら問題解決の答えを自ら出していく事を体験しました。今後の問題解決の考え方として、実践していきたいと思えます。

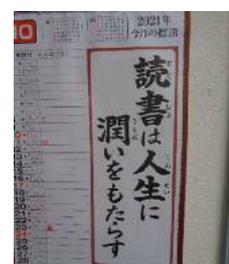
(田貝)



<読書について>

10月の社内にあるカレンダーにこんな標語があります。「読書は人生に潤いをもたらす」。読書が好きな方、嫌いな方がいると思いますが、本を読むことで色々な体験ができると思います。小説の主人公に共感したり、ビジネス本で新しい考えに触れて思わぬ発見があり、そうだったのかと納得したりすることがあります。会社には「大五文庫」があり、色々な本を読むことが出来るので、良い環境になっていると思います。

(田貝)



<メダカ>

今年、清水の舞台から飛び降りる気持ちでちょっと高いメダカを購入しました。体全体的にシルバーの色合いが強い「鉄仮面」とシルバーの色合いが少し薄い尾ひれの長い「ブルースターダスト（ひれ長）」を購入しました。以前から高価なメダカは繁殖がしにくいとは聞いていましたが、その通りで卵は取れるのですが産卵しにくく、また稚魚は産まれてもなかなか育ってくれないのです。今年の初夏の暑さとお盆頃の雨寒の気候も加わり、その他のメダカの産卵もあまりよくありませんでした。また今年は布袋草の繁殖も悪く、花が一株しか咲きませんでした。水替え時とかは腰が痛くなりくじけそうになりますが続けたいと思います。（五十嵐）



<ペットボトルキャップ>

会社ではボランティアの一環としてペットボトルキャップの回収を行っております。今回ある程度数が集まったのでクリーン&セーフティ委員会にて富岡市社会福祉協議会様にお届けしました。集めたペットボトルキャップは、世界の子供たちへのワクチンになります。もしゴミとして捨てた場合はキャップ500個で約1kgのゴミになってしまいます。これからも使える資源は大切にしていきたいですね。（越田）



<小林清孝さん>

創業メンバーの1人である小林清孝さんに現場管理を依頼しております。小林さん曰く「大変ご無沙汰しております。退職して5年経ちました。松原常務よりお仕事の話をいただき、有り難く引き受けました。これからお客様に喜んで頂く事をモットーに管理をしていきます。」との事です。今後ともよろしく願い致します。（安藤金光）



<群馬クレーンサンダーズ>

群馬クレーンサンダーズがB1リーグに昇格元年の今年、開幕戦からの2連勝を挙げました。2戦の相手は前期リーグ準優勝チームの「宇都宮ブレックス」です。「群馬クレーンサンダーズ」の名前の由来は次の通りです。群馬を象徴する「鶴舞う形の群馬県」と「雷」から命名されました。鶴は日本の象徴とも言える鳥であり、優雅な美しさと器用さなどを連想させ、雷はまさに群馬の象徴、エネルギー感でスピード感あるパワーを連想させます。群馬県の誇りと夢を乗せ、日本一のクラブを目指すべく力強く優雅に羽ばたきます。群馬を代表するチームの頑張る姿を見ると元気が湧いてきます。これからも応援します。（五十嵐）

<東駐車場からの夕陽>

10/2東駐車場から見た夕陽です。松田聖子さんの「瑠璃色の地球」という歌、松本隆さんによる歌詞のサビ「朝日が水平線から光の矢を放ち」という部分が浮かんでしまいました。キンモクセイの香る時期に一息入れたい風景でした。（安藤金光）

